

PRESS RELEASE (2017/10/05)

**総務省・「IoT/BD/AI 情報通信プラットフォーム」社会実装推進事業を受託
—都市の社会課題を解決する新しい市民サービスの実現に期待—**

国立大学法人九州大学共進化社会システム創成拠点(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)高野 茂准教授は、このたび、社会課題を解決する先進的な AI* のシステムやサービスの事業化を目的とした、平成 29 年度「IoT/BD/AI 情報通信プラットフォーム」社会実装推進事業(課題Ⅱ: 国民生活分野における高度 AI システムの事業化に向けた研究開発)(以下、本事業)を総務省より受託しました。IoT*2 やビッグデータ(BD)、AI などを活用して、社会課題の解決をめざす社会イノベーション事業を推進している株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO: 東原 敏昭/以下、日立)とともに、本事業を推進します。

現在、我が国は、超高齢化、人口減少、安全・安心の確保、観光立国の推進など、さまざまな観点において、多くの課題を抱えています。このような課題を解決していくために、IoT を活用したセンサーでビッグデータを収集し、AI などのアナリティクスで分析することで課題解決をめざすのが有効策の一つとされています。しかし我が国では都市における IoT や AI の活用実例が少なく、街づくりに多くのステークホルダーが関係し合うことから、製造・流通など他の分野と比較し、普及が進んでいない現状があります。

今回受託した本事業において、「誰もが安心して快適に暮らせる都市」をコンセプトに、日立の開発した AI を活用した映像解析による市民見守りサービスなどをはじめ、社会実装に向けた研究開発を推進します。本取組は、平成 28 年度に実施した映像解析による見守りなどのキャンパス実証実験(九州大学・福岡地域戦略推進協議会・日立にて実施)をベースとして、九州大学伊都キャンパスにおいて映像解析技術*3 に関する実証実験を行うとともに、ニーズのヒアリングなどを行うことで、社会に広く普及し人々の課題を解決するビジネスモデルを検討し、市民の暮らしをより豊かにする新たなサービスの創出をめざします。翌年度以降は、セキュリティやプライバシー保護を引き続き配慮しながら、さまざまな住民向けサービスとの連携を視野に、アプリケーションや基盤開発、都市空間におけるトライアル、サービスコンセプトや社会的受容性の検証などの実施をめざしていきます。

本事業を通じて都市における IoT やビッグデータ、AI の活用を推進し、安心して快適な都市の実現に向けた検討をしてまいります。

研究者からひとこと:

九州大学 COI で開発する Petit Sensor Box (P-Sen) を中心とする人流解析プラットフォーム上に、日立製作所がもつ AI 映像解析技術を実装し、都市の社会課題を解決する新しい市民サービスを創出します。ICT の存在を前提とした市民を見守る次世代のお地蔵さんの研究開発です。セキュリティやプライバシー保護には十分に配慮しながら研究開発を進め、将来の事業化をめざします。



参考図



【お問い合わせ】 共進化社会システム創成拠点 准教授 高野 茂
電話:092-802-6668 FAX:092-802-3638
Mail: takano.shigeru.019@m.kyushu-u.ac.jp

■用語解説

*1 AI (Artificial Intelligence): 人工知能

*2 IoT: Internet of Things

*3 本事業は、監視カメラやセンサーのデータを一元的に収集・分析する日立のフィジカルセキュリティ統合プラットフォームに含まれる技術の活用を予定しています。本プラットフォームについては、2017年3月22日にニュースリリースを発行しています。
(<http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2017/03/0322a.html>)

■本事業の概要について

1. 研究開発の背景・目的

- 超高齢化・人口減少社会への対応、健康長寿社会の形成
- 人工知能に関する先進的かつ独創的な技術・製品・サービス・ビジネスモデルの創出
- 人工知能に関する優れた技術やアイデアを持つベンチャー企業等の事業化支援

2. 研究開発体制(フェーズ1)と研究内容

研究責任者：高野 茂 (九州大学)

ア) 見守りサービスの事業化に関する研究開発 (九州大学)

ア-1) サービス内容の検討

ア-2) 擬似都市空間(九州大学伊都キャンパス)におけるトライアル分析
(実証内容の検討、実証計画の策定、実証設備の管理)

イ) 高度AIを活用した映像開発技術の事業化に関する研究開発 (日立)

イ-1) 関係事業者へのニーズヒアリング・サービスコンセプト策定
(自治体、交通事業者など)

イ-2) 擬似都市空間(九州大学伊都キャンパス)におけるトライアル分析
(実証実験の検討、実証結果の分析および評価)

■概要図



■国立大学法人九州大学の Web サイト

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/>

■日立のアーバンソリューションの Web サイト

<http://urban.ext.hitachi.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

九州大学 共進化社会システム創成拠点 准教授 高野 茂

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744

電話：092-802-6668 FAX：092-802-3638

Mail：takano.shigeru.019@m.kyushu-u.ac.jp

株式会社日立製作所 アーバンソリューションビジネスユニット

街づくりソリューション本部 [担当:伊藤、大塚、小紫]

〒108-8250 東京都港区港南二丁目 18 番 1 号(JR 品川イーストビル)

電話:03-5471-4609

■報道関係お問い合わせ先

九州大学 広報室

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744

電話：092-802-2130 FAX：092-802-2139

Mail：koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

株式会社日立製作所 ブランド・コミュニケーション本部 広報・IR 部 [担当:西野]

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号

電話:03-5208-9324(直通)